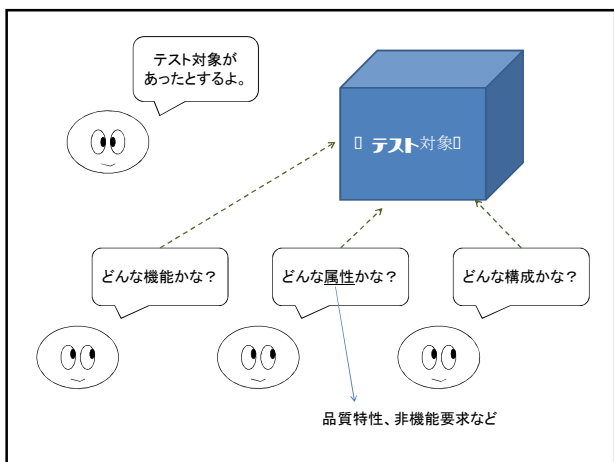
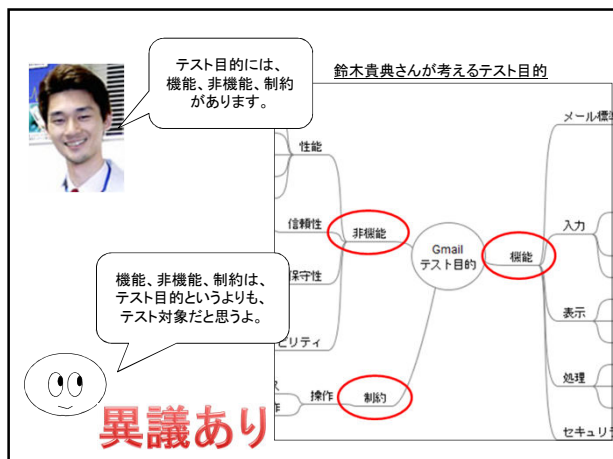
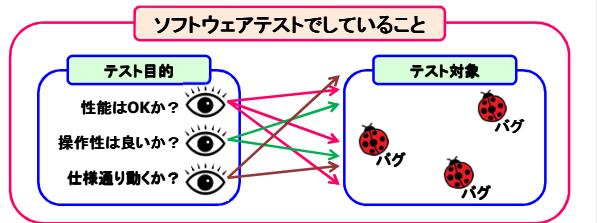


JaSST'11 Tokyo 智美塾セッション

議論: テスト目的とテスト対象について



塾生達の発表が終わった後、2号生からの質問がありました。いくつかの質問のうちの一つが、「テスト目的とテスト対象」です。

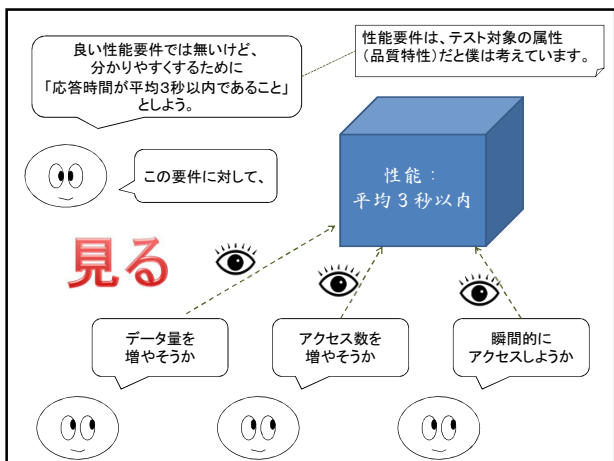


機能、属性、構成は、テスト対象の性質であって、テスト目的ではないよ。

性能テストは、テスト目的でしょう?

鈴木貴典さんは、JSTQB-FLシラバスの次の文章を踏まえた発言のようでした。

2.3. テストタイプ p.27
 テストのタイプは、テストの目的により異なる。ソフトウェアの機能であったり、信頼性、使用性等の非機能的な特性であったり、ソフトウェアやシステムの構造やアーキテクチャであったり、欠陥が正しく修正されていることであったり(確認テスト)、意図しない変更がないことの確認(回帰テスト)であったりする。



「テストをしようとする」「テストを意図する」が、テスト目的だと思うんだ。

う〜ん。でも、性能テストってテストタイプですよ。やはり、テスト目的ですよ。

今日は、議論する場じゃないから、見解の相違ということで。

このようにですね。智美塾では、意見を押し付けるのではなく、議論しています。

塾生のテストアーキテクチャの整理

- すべての塾生のテストアーキテクチャは表である
 - 図にはならないのか?
 - アーキテクチャなので図じゃない?
- 次のような図にするのはどう?
 - ただし、この図では表と同じなのでもっとエレガントな図にしたいね
 - 例えば、線を引いて関係性を表すなど

